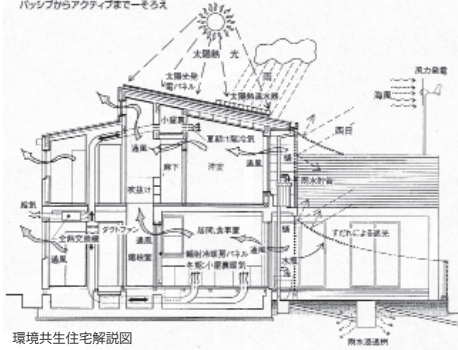




テレビ朝日「素敵な宇宙船地球号」特集・エコ住宅に住みたいタイトルバック 2000.5.7

パッシブからアクティブまで一そろえ



- 環境共生型すまいの実践
(竣工時)
- ・夏季のすだれ(日射遮蔽)
 - ・自然通風・通気(海風)
 - ・高気密高断熱
 - ・輻射冷暖房
 - ・屋上緑化
 - ・太陽光発電
 - ・風力発電
 - ・雨水貯留・浸透



街角側の外観



内観(居間)



屋上の芝生と植栽(DIY施工)

諸元 所在地: 千葉県浦安市・地域地区・第一種住居地域、敷地面積 175.3㎡、
延床面積 156.09㎡、構造・階数: RC+ 木造混構造、施工・岡本工務店、他(分
離発注)、竣工・1997.8、構造・松本構造設計室(松本年史)、設備設計協力
遠藤二夫・若松宏、掲載: 日経7-キチ17 5-3 1999 受賞・千葉県建築文化
賞 1999 年環境部門賞 担当: 中野、吉田、郷田

■東日本大震災液状化被災地域の復旧・支援活動

自身も被災した専門家



右上: 自身の被害を説明する中野郷田氏 右上: 中野氏の事務所、1階は2階の避難所、1階が比較的免れたためか、崩壊より被害が大きい。右下: 被災直後の被害の様子 右下: 自邸ウッドデッキ裏下にも大きな液状化の被害

日経7-キチ17 4-22 2011 掲載

街区中の全戸が不同沈下

(被災直後調査の一例)

8.07 %	8.00 %	1.00 %	8.07 %	8.04 %	1.00 %
1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %
1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %
1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %	1.00 %

※ 4号棟は8号棟の隣で、
で計測した結果は、
の被害が、11号棟の
の被害が、11号棟の
の被害が、11号棟の



日経ホームビルダー 2011.6 掲載

復旧支援経緯: 被災翌日から近隣被害状況調査を実施(後に研究室学生も協力)、1週間後に被災住民向け沈下修正工法等情報提供・自治会ボランティアの傍ら、日経アーキテクチャ 2011.4. 23 号、ほか雑誌・学会等に寄稿、自邸沈下修正工事後5月9日(恩田組)、以後 NPO 浦安液状化復旧相談室に参加、同副代表